

5月18 - 22日週のユーロ円レビュー

May 25, 2009

米格下げ懸念のドル売りでユーロ堅調

High : 132.98 円 Low : 126.99 円

Close : 132.76 円

前半は米金融機関に対する懸念の低下により、リスク回避の動きが後退したことが、ユーロ円の底堅さにつながった。終盤は米格下げへの不安がドル売りにつながりユーロが上伸。ユーロ円は133円回復に迫った。

5/18 (月) 130.64 円

新型インフルエンザの拡大を嫌した日本株売りでリスク回避の円買いが進み、ユーロ円は一時127円割れ。しかし、同水準からは反発し、日本国債の格付け見直しを受けた円買いに戻りを抑えられながらも上伸した。金融株の投資判断引き上げや、米金融大手の公的資金返済の報道を受け、米株が反発したこともリスク回避の動きを弱め、ユーロ円は130円後半まで上昇した。

5/19 (火) 130.86 円

続伸。強い独・ユーロ圏 ZEW 景気期待指数を受けた後の買いが一巡しても、前日話題になった米公的資金返済を好感したセンチメントを引きずり、リスク回避の動きが後退。ユーロ円は131円を挟んで推移した。

5/20 (水) 130.82 円

弱い本邦 1-3 月期 GDP に対しては、強い方向感を持った反応を見せなかったが、日経平均の上昇幅縮小を受けたリスク回避の円買いで、ユーロ円は一時130円割れ。ただ、同水準からは底堅かった。FOMC 議事録で米景気後退がより深まる可能性が指摘されたことでドル売りが進み、ユーロ買いが活発化。ユーロドルは一時1.38ドル台を回復。ただ、ユーロ円はドル円の下落に影響された円買いが戻りを抑制した。

5/21 (木) 131.30 円

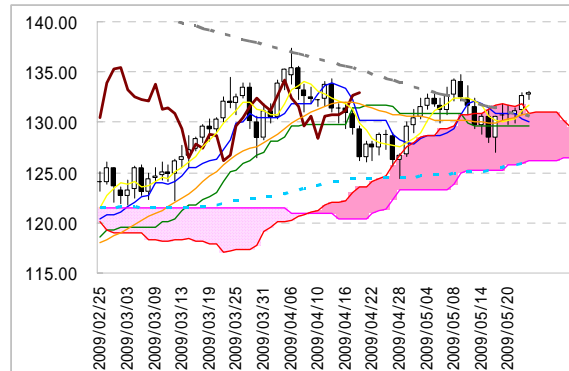
底堅い動き。S&P が英国の格付け見直しを引き下げ。米国の格付けも引き下げ方向へ向かうとの懸念が高まりドル売りが強まり、ユーロドルが1.39ドル台を回復。ユーロ円は、リスク回避の円買いを受けて上値が重かったものの、131円台を回復して引けた。

5/22 (金) 132.76 円

続伸。米格下げを巡る懸念が継続。ユーロドルは1.40ドル半ばまで上伸。ユーロ円も133円回復に迫った。

月日	High	Low
5/18 (月)	130.67 円	126.99 円
5/19 (火)	131.86 円	130.17 円
5/20 (水)	131.73 円	129.70 円
5/21 (木)	131.50 円	129.85 円
5/22 (金)	132.98 円	130.75 円

ユーロ円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

137.42 (4月6日高値 = 年初来高値)

134.80 (5月11日高値)

==== 先週末の NY クローズ 132.76 円 =====

130.90 (週足一目均衡表・転換線)

126.99 (5月18日安値)

欧州の重要指標結果

5/18 (月) [結果] (前回)

ユーロ圏 3 月貿易収支

季調前 [4 億ユーロの黒字] (10 億ユーロの赤字)

5/19 (火) [結果] (前回)

独 5 月 ZEW 景気期待指数 [31.1] (13.0)

独 5 月 ZEW 景気現況指数 [-92.8] (-91.6)

ユーロ圏 5 月 ZEW 景気期待指数 [28.5] (11.8)

5/20 (水) [結果] (前回)

独 4 月生産者物価指数(前年比) [-2.7%] (-0.5%)

5/21 (木) [結果] (前回)

独 5 月製造業 PMI・速報値 [39.1] (35.4)

独 5 月サービス業 PMI・速報値 [46.0] (43.8)

ユーロ圏 5 月製造業 PMI・速報値 [40.5] (36.8)

ユーロ圏 5 月サービス業 PMI・速報値 [44.7] (43.8)

ユーロ圏 5 月総合 PMI・速報値 [43.9] (41.1)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 130.90 - 137.42 円

前週末までのセンチメントの弱さを引継ぎ、127円割れとなったものの同水準からは反発。一目の雲の抵抗を上抜けてきた。11日高値134.80円を目先の目標に、上値を試す展開が想定される。同水準をこなすと4月6日につけた年初来高値137.42円が視野に入ってくる。